

平成29年度 事業報告・決算報告について（概要）

1 事業報告

平成28年度に事業体制を7部門に分け、部門ごとの活動を始めてから1年が経ちました。2部門ではボランティアの人手不足もありましたが、5部門では事業をつつがなく実施することができました。

①運営部門

- ・平成31年度に設立10周年を迎えるため、記念行事の検討を開始しました。
- ・ホームページの刷新の検討を進めてきました。

②相談部門

- ・相談事例の検討会を増やすとともに、精神科医や臨床心理士による研修会を年4回開催する等、相談員の資質向上に取り組みました。
- ・平成28年度から取り組んだ群馬県初の「面会交流事業」では、元調停員の方が相談員として加わったことにより、面接や調停相談や同行支援が受けられるようになりました。

※面会交流事業とは、離婚後の子どもと親を引きあわせる場を調整する事業です。

③DV防止部門

- ・中学、高校、大学でデートDV研修会を開催するほか、市町村の配偶者暴力相談センターや担当課職員等を対象とした研修会を開催しました。
- ・加害者教育更正プログラムも、群馬県内初の事業として、グループワークを中心に開催しました。

④心理研修部門

フォーカシング心理研修や女性支援の自助グループ『しゃべり場』を毎月行ない、また外部講師による「傷ついた子どもの心のケア」研修会等も開催しました。

⑤自立支援部門

一時保護施設「風のイスキア」は、前橋・高崎ともに、若い女性や若い母子でほぼ満室状態でした。入所者には面接、同行、就業、部屋探しの支援を行い、自立して生活できるよう寄り添ってきました。

12月23日には、「風のイスキア」の仲間同士の交流の場としてクリスマス会を行いました。子ども同士遊んだり、親同士が今困っていることを話したりして、すっきりした表情で帰っていかれました。

⑥渉外・広報部門

行政、警察、関係団体等の対外的な会議への参加に加え、年3回のバザーを実施し、「クリスマス会」の資金を得ました。

⑦無料学習部門

- ここ3年で子どもたちの居場所として定着してきました。講師の皆さんが勉強、遊び、心のケアにと頑張ってくれています。子どもとの対応は1対1を基本とし、現在、前橋・玉村の2会場で23人の子どもたちが参加しています。また、母親同士が気軽に話せる「お母さんカフェ」も開催しました。
- 前橋市南町のラフォーアーキテクト(株)の田仲社長から、前橋学習会の会場提供のお話をいただき、平成30年4月1日から常時、南町ビルの1室を無料で使用させてもらえることになりました。これにより前橋学習会も安定的な会場確保ができたこと、感謝です。

2 決算報告

平成29年度は、28年度の赤字決算から脱却し、黒字転換することができました。

(収入の部)

- 助成金については、2件が終了となったものの、新たに2件が決定し、そのうちの日本たばこ産業(株)からの助成金が918,600円と多額であったため全体としては増額となりました。
- 事業収益については、シェルター入居者が多かったため使用料収入が増加しました。また、寄附金についても、昨年より増加しました。

(支出の部)

シェルター入所者の増加に伴い、市役所等への同行支援が増加したため、謝礼等の人件費が増加しました。一方、主催者の都合により研修講座等の開催回数が少なかったため、講師への謝金の減少等により支出額全体が減少しました。

<平成29年度決算結果と前年比較>

区分	項目	H28年度(円)	H29年度(円)	構成比	増減額	前年比
収入の部	会費	414,000	418,000	5.3	4,000	101%
	寄附金	567,100	592,500	7.4	25,400	104%
	助成金	2,550,000	3,268,600	41.1	718,600	128%
	事業収益	3,468,938	3,677,414	46.2	208,476	106%
	その他	9,481	2,025	0.0	-7,456	21%
	合計	7,009,519	7,958,539	100.0	949,020	114%
支出の部	人件費	2,432,890	2,645,000	35.5	212,110	109%
	活動経費	3,940,307	3,530,548	47.4	-409,759	90%
	管理費	1,343,859	1,276,340	17.1	-67,519	95%
	合計	7,717,056	7,451,888	100.0	-265,168	97%
収支		△ 707,537	506,651		1,214,188	